



# クラシノソコアゲ応援団! RENGO キャンペーン 全道キャラバン通信

NO.55 2017.6. 発行責任者 連合北海道組織労働局

**STOP! 長時間労働、実効ある働き方改革実現**

## 「働きやすい職場、暮らしやすい社会をつくろう！」

— 共謀罪成立阻止に向け支援を！参院での強行採決を許してはならない！ —

5月10日スタートした全道キャラバン行動は6月7日に全行程を終え、12時から札幌紀伊國屋書店前で到着街頭集会を開催した。昼休み時間にかかわらず組合員、市民ら約150人が参集した。

連合北海道出村良平会長は、挨拶の冒頭で本キャラバン行動に協力いただいたすべての関係者、組合員、市民に感謝を述べた後、「多くの職場で36協定未締結や残業不払いの実態がある。違法状態を一掃することが先決。ベルコ問題など働く者の権利を無視する働かせ方を許してはいけない。運動の中で働きやすい職場、暮らしやすい社会をつくっていこう」と訴えた。また、共謀罪について参院での強行採決は言語道断で断じて許してはならない、法案成立阻止に向けて支援を呼びかけた。



組合員、市民に訴える出村会長

民進党道連市橋幹事長から連帯挨拶をいただいた後、連合北海道永田組織労働局長から、29日間一日も休まず走行し延べ走行距離は7,180キロ、全道の170市町村を訪問、160ヶ所で街宣を行い、17地区で集会を開催し2,322人の組合員、市民が参加したことなど、過去3回行われた全道キャラバン行動を大幅に上回る結果となったことが報告された。



永田局長



高橋委員長



市橋幹事長



山田委員長

次に、ベルコ労組の高橋委員長が決意表明に立ち、これまで寄せられた支援に感謝するとともに現状について報告、引き続き裁判や労働委員会での闘いに全力を挙げると訴えた。連合北海道女性委員会の山田委員長から「いま我々はスタート台に立っている。労働組合の一人ひとりが積極的に行動していこう」との集会アピールを提案、採択した。最後に、連合北海道杉山事務局長の団結ガンバローで集会を締めくくった。



**共謀罪の廃案を求める街頭演説会とデモ行進**

6月12日(月) 18時~19時 札幌大通西4丁目